

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社ブロードバンドタワー 上場取引所 東  
 コード番号 3776 URL <http://www.bbtower.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 CEO (氏名) 藤原 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 法務・経理統括 (氏名) 中川 美恵子 (TEL) 03-5202-4800  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	6,893	5.5	174	△25.2	120	△47.2	20	△79.1
26年6月期第1四半期	6,536	58.1	233	120.2	227	—	97	386.4
(注) 包括利益 27年6月期第1四半期	42百万円(△65.9%)		26年6月期第1四半期		123百万円(—%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	0.47	0.46
26年6月期第1四半期	2.23	2.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	12,517	6,010	43.8
26年6月期	12,785	6,017	43.1

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 5,485百万円 26年6月期 5,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.50	—	1.00	1.50
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.50	—	1.00	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,300	4.7	350	△18.0	380	△7.6	110	△30.9	2.53
通期	29,000	8.4	850	8.2	880	9.8	290	21.5	6.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	51,474,000株	26年6月期	51,469,000株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	7,980,000株	26年6月期	7,980,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	43,491,283株	26年6月期1Q	43,457,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	10
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、クラウドサービスやビッグデータ市場の拡大等、上向きの傾向にはあるものの、情報サービス産業間の競争は激しさを増しており、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、「既存の主力事業の構造改革」と「関連新規事業立ち上げ」を基本方針とし、データセンターサービスやクラウドサービスにおけるサービスの強化、太陽光発電事業の開始を契機としたスマート・エネルギー及び連結子会社である株式会社Lyudia（以下、Lyudia）を中心とした決済事業の育成等、推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は、以下のとおりであります。

コンピュータプラットフォーム事業におきましては、データセンター、クラウド・ソリューション、データ・ソリューション、スマート・エネルギー及びその他・海外事業に分け、サービスを展開しております。

データセンターでは、当社が保有する都心を主体とするデータセンターの占有率は比較的堅調に推移しているものの、厳しい事業環境が続いております。今後の成長のために、ヤフー株式会社の100%子会社である株式会社IDCフロンティアと共同で、ヤフーグループが保有する白河（福島県）と北九州（福岡県）のデータセンターを利用し、「都心・地域連携型」のデータセンターサービスを引き続き提供してまいります。

クラウド・ソリューションでは、昨年（平成25年）8月より仮想化クラウドサービス「GrowServer」を新たに提供したことに加え、当社独自のc9サービスにおいては、他社とのアライアンスにより中堅・中小企業向けのc9プラットフォーム基盤の展開を推進する等、サービスの拡大を図りました。また、本年（平成26年）6月にクラウドセキュリティ認証制度「STAR認証」を取得したことで、更なるサービスの拡大、信頼性のあるセキュリティといった当社の特長を訴求し受注拡大を図ってまいります。

データ・ソリューションでは、当社の主力プロダクトである米EMC社製の「Isilonシリーズ」の販売拡大に努めました。また、決済市場の更なる拡大を見越して昨年8月に設立したLyudiaは、決済ビジネス向けのデバイス、アプリケーションやシステム開発等を着実に進めております。

スマート・エネルギーでは、昨年8月末より山口県防府市において太陽光発電事業を開始し、売り上げに貢献しております。

その他・海外事業では、米国ハワイ州の共同事業先であるDRFortress社のホノルルのデータセンターが売り上げに貢献しております。

この結果、コンピュータプラットフォーム事業の売上高は1,904百万円（前年同四半期比8.5%減少）、営業利益は62百万円（同22.0%減少）となりました。

一方、ファッションビジネスプラットフォーム事業におきましては、ビービーエフが行うECシステム構築支援・運用サービス、TVショッピング支援サービス及びブランチ・アウトが行うファッションホールセールサービスを主軸とした事業を展開しております。

ECシステム構築支援・運用サービスでは、ブランドオフィシャルECサイト制作から受発注システム構築・運用、倉庫業務、商品配送業務まで、インターネット、携帯、スマートフォンを活用した通信販売に必要となるプラットフォームを一括して提供しております。大手既存ブランドの売り上げが順調に拡大を続けたことに加え、新規ブランドも順調に獲得できており、その結果、本年9月末時点におけるサイト数は87サイトとなりました。

TVショッピング支援サービスでは、株式会社QVCジャパンを中心とするTV通信販売会社とファッションメーカーとを繋ぎ、商品企画、在庫・生産管理から販売に至るまでを支援することを可能としております。既存取引については、比較的堅調に推移しております。

ファッションホールセールサービスでは、ブランチ・アウトが大手小売店に対し、衣料品の販売・企画・デザイン・製造・生産管理を一貫して行っております。なお、当第1四半期連結会計期間から、ビービーエフの子会社である上海布藍綺国際貿易有限公司を連結対象会社としております。

この結果、ファッションビジネスプラットフォーム事業の売上高は4,989百万円（前年同四半期比12.0%増加）、営業利益は110百万円（同27.4%減少）となりました。

以上の活動により、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は6,893百万円（前年同四半期比5.5%増加）、営業利益は174百万円（同25.2%減少）、経常利益は120百万円（同47.2%減少）、四半期純利益は20百万円（同79.1%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、のれんの償却等により前連結会計年度末に比べ268百万円減少し、12,517百万円となりました。

負債合計は、長期借入金の返済等により前連結会計年度末に比べ261百万円減少し、6,506百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益を計上したものの、剰余金の配当もあり前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、6,010百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月6日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(特定子会社以外の子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、上海布藍綺国際貿易有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,791,453	3,245,377
受取手形及び売掛金	3,203,174	3,256,111
有価証券	599,976	999,881
商品及び製品	661,812	607,407
繰延税金資産	168,799	146,256
その他	228,951	293,224
貸倒引当金	△2,933	△2,572
流動資産合計	8,651,234	8,545,685
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	590,750	562,004
機械及び装置（純額）	795,312	781,270
工具、器具及び備品（純額）	279,140	275,213
土地	1,078	1,078
リース資産（純額）	11,348	10,111
建設仮勘定	2,000	—
有形固定資産合計	1,679,630	1,629,677
無形固定資産		
のれん	847,305	784,187
その他	208,085	201,132
無形固定資産合計	1,055,390	985,320
投資その他の資産		
その他	1,399,917	1,357,051
貸倒引当金	△455	△555
投資その他の資産合計	1,399,461	1,356,496
固定資産合計	4,134,482	3,971,494
資産合計	12,785,717	12,517,180

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,322,591	2,400,722
1年内返済予定の長期借入金	742,664	742,664
未払金	189,967	219,920
未払法人税等	110,894	—
前受金	644,990	620,822
賞与引当金	89,294	101,994
役員賞与引当金	1,600	—
返品調整引当金	1,707	1,684
資産除去債務	33,576	36,230
その他	218,908	146,434
流動負債合計	4,356,194	4,270,472
固定負債		
長期借入金	1,742,336	1,556,670
役員退職慰労引当金	177,499	185,000
退職給付に係る負債	23,361	24,504
資産除去債務	461,483	463,569
その他	7,238	6,149
固定負債合計	2,411,919	2,235,892
負債合計	6,768,114	6,506,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,327,560	2,327,803
資本剰余金	2,310,848	2,311,091
利益剰余金	3,100,629	3,074,210
自己株式	△2,228,332	△2,228,332
株主資本合計	5,510,706	5,484,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,003	950
為替換算調整勘定	—	203
その他の包括利益累計額合計	1,003	1,154
新株予約権	31,901	31,745
少数株主持分	473,990	493,141
純資産合計	6,017,602	6,010,815
負債純資産合計	12,785,717	12,517,180

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	6,536,332	6,893,568
売上原価	5,385,339	5,697,706
売上総利益	1,150,992	1,195,862
販売費及び一般管理費	917,986	1,021,581
営業利益	233,006	174,281
営業外収益		
受取利息	832	467
貸倒引当金戻入額	30	261
出資金運用益	5,959	—
その他	972	247
営業外収益合計	7,794	976
営業外費用		
支払利息	11,958	9,763
出資金評価損	—	43,027
その他	1,038	2,094
営業外費用合計	12,997	54,884
経常利益	227,803	120,373
特別利益		
新株予約権戻入益	124	—
特別利益合計	124	—
税金等調整前四半期純利益	227,927	120,373
法人税、住民税及び事業税	91,100	57,197
法人税等調整額	13,331	21,558
法人税等合計	104,432	78,755
少数株主損益調整前四半期純利益	123,495	41,617
少数株主利益	26,424	21,337
四半期純利益	97,071	20,280



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	123,495	41,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	△91
為替換算調整勘定	—	619
その他の包括利益合計	220	528
四半期包括利益	123,715	42,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,199	20,588
少数株主に係る四半期包括利益	26,516	21,557

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結結果計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータ プラットフォーム 事業	ファッションビジ ネスプラットフォーム 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,080,178	4,456,153	6,536,332	—	6,536,332
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,046	1,736	5,782	△5,782	—
計	2,084,225	4,457,889	6,542,115	△5,782	6,536,332
セグメント利益	80,353	151,762	232,115	890	233,006

(注) 1 セグメント利益の調整額890千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

「コンピュータプラットフォーム事業」において、太陽光発電設備を取得したことにより、セグメント資産が536,900千円増加しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する情報

前第2四半期連結会計期間より、株式会社ブランチ・アウトを連結子会社を含めたことにより、「Eコマースプラットフォーム事業」を「ファッションビジネスプラットフォーム事業」に名称変更し、当該連結子会社を「ファッションビジネスプラットフォーム事業」としております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンピュータプラットフォーム事業」において、株式会社ITコアより仮想化クラウドホスティング事業(『GrowServer』サービス)を譲受けました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結結果計期間において135,957千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータブ ラットフォーム 事業	ファッションビ ジネスプラット フォーム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,904,030	4,989,538	6,893,568	—	6,893,568
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,596	45	4,641	△4,641	—
計	1,908,627	4,989,583	6,898,210	△4,641	6,893,568
セグメント利益	62,711	110,173	172,885	1,395	174,281

(注) 1 セグメント利益の調整額1,395千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当社グループは、生産に該当する事項がないため、生産実績に関する記載はしていません。

## ② 受注実績

当社グループは、受注生産を行っていませんので、受注実績に関する記載はしていません。

## ③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)	前年同期比(%)
	金額(千円)	
コンピュータプラットフォーム事業	1,904,030	△8.5
ファッションビジネスプラットフォーム事業	4,989,538	+12.0
合計	6,893,568	+5.5

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

## 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社しまむら	1,417,644	21.7	1,030,778	15.0
ヤフー株式会社	1,063,341	16.3	952,058	13.8
株式会社QVCジャパン	996,200	15.2	806,786	11.7

## 3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。